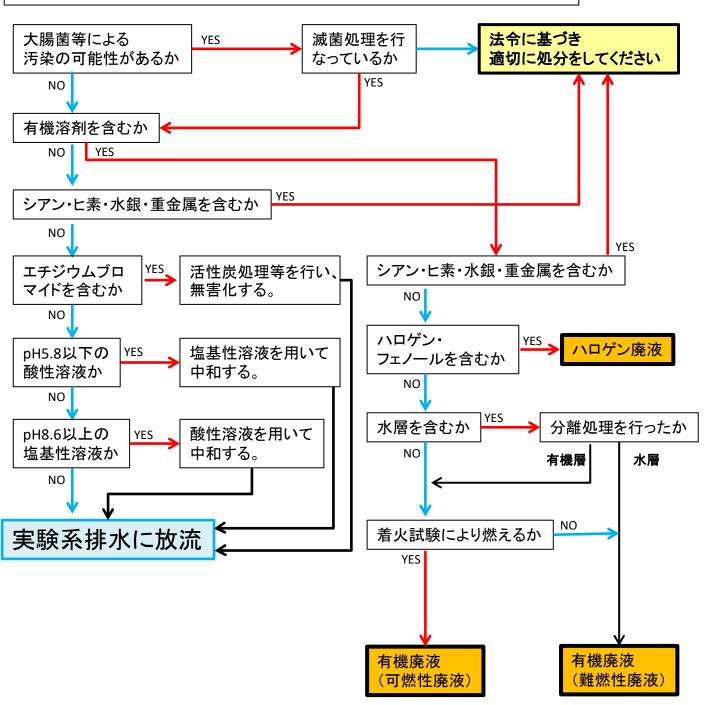
実験廃液の分類について

とっとりバイオフロンティア 2025.10.9

実験によって発生した化学物質を含む全ての廃液、廃液の入っていた<mark>容器をすすいだ水(2回目まで)は実験廃液とみなし、以下の手順で分類を行なってください。(固形物は除いてください。)</mark>





特別な措置が必要な廃液(シアン・ヒ素・水銀・重金属廃液、その他)が発生する場合は、 **当施設では処分ができません**。実験者の方が持ち帰り、関係法令に従い適切に処分してください。

当施設内で回収・廃棄可能な廃液 (分類例)

とっとりバイオフロンティア 2025.10.9

分類	試薬名等	備考	
ハロゲン系廃液	トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、四塩化炭素、クロロホルム、塩化メチレン、二塩化エチレン、 クロロエチレン、メチルクロロホルムなど	pH5.0~9.0に調 整すること。	
	フェノール、クレゾールなど		
有機廃液 (可燃性廃液)	ベンゼン、トルエン、キシレン、ヘキサン、酢酸、酢酸エチキサン、酢酸、酢酸エチル、ジメチルエーテル、アセトン、エタノール、メタノール、イソプロパノール、ブタノール、ホルムアミドなど	水溶液の濃度 ではなく、燃え るか否かで判 断してください。	所定の容器に 入れて廃棄して ください。
有機廃液 (難燃性廃液)	ホルマリン、大量の水を 含む水溶性溶液(アセト ン、ベンゼン、ヘキサン 等)		

※ご不明な点がございましたら、まずは推進室へご相談ください。

特別な措置が必要な廃液(シアン・ヒ素・水銀・重金属廃液、その他)が発生する場合は、 **当施設では処分ができません**。実験者の方が持ち帰り、関係法令に従い適切に処分してください。